

特集

1

実践にいきる フィジカルアセスメント

臨地実習では、学生が生身の患者に接する機会が戻ってきました。

コロナ禍により3年以上にわたって、フィジカルアセスメントの科目を
実践的な形で展開できなかった学校は少なくありません。

一方で、担当教員や実習指導者の努力や模索により、授業のさまざまな
工夫が生み出され、それらは今の授業にも応用されていると思います。

看護の営みの中核をなすフィジカルアセスメント。

今一度「実践にいきる」を主眼に、今と将来を見据えての意義、
時代に即した学習法を皆さんと共有したいと思います。

